

にれいよりしげ

■ 楡井頼重終焉の伝承地のご紹介

平成30年12月22日(土)、観光ボランティアガイド『歴史探学会おおさき』の皆さんが、楡井頼重終焉の伝承地に看板を設置されました。

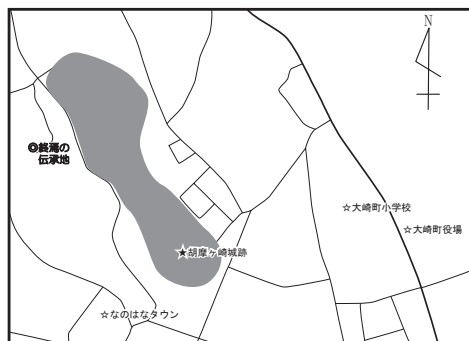
歴史探学会おおさきの方々は、町外から来られた観光客の皆さんに大崎町の歴史や文化財の案内をおこなっています。また、歴史を学ぶ楽しさを伝えるため、生涯学習講座では講師として積極的に活動をおこなっています。

今回、楡井頼重の終焉の伝承地として地元の方の証言やご協力をいただき、看板を設置するに至りました。歴史探学会おおさきの清山会長から「これからも大崎町の歴史を盛り上げるため頑張ります」と心強いコメントをいただきました。



【歴史探学会の皆さん】

大崎町歴史人物略伝 南北朝時代に活躍した武将～楡井頼重～



楡井頼重終焉の伝承地地図

今から約680年前、その頃日本最大の勢力を誇った足利氏に反旗を翻した後醍醐天皇は新たに都を作りました。後醍醐天皇を「南朝」、足利氏を「北朝」と呼ぶ争いが京都付近で起こり、この争いが日本全国へと広がります。大隅地域で南朝方として活躍した武将が、楡井頼重です。大崎町史によれば、1348年頃、志布志市(志布志城)から鹿屋市(大始良城)にかけて勢力を伸ばします。その後1357年、北朝方の畠山直顕の家臣禰寝氏に攻められ、大崎町(胡摩ヶ崎城)にて戦死したと伝えられています。

※もっと詳しく楡井頼重の事を知りたい方は、町立図書館にて大崎町史(243～258ページ)をお読みください。

■ 旧野方保育所に手作り横断幕を掲げました！

角堂集落の山下海征さんが、野方地域のかごしま国体への気運醸成に少しでも役に立てればと、自宅にある材料で手作りのかごしま国体PR横断幕を製作してくださいました。

近くをお通りの際はぜひご覧ください！

